



# CCS — Carbon dioxide Capture and Storage —

広告特集  
企画・制作 朝日新聞社広告局

## 最先端技術(CCS)で創る低炭素社会

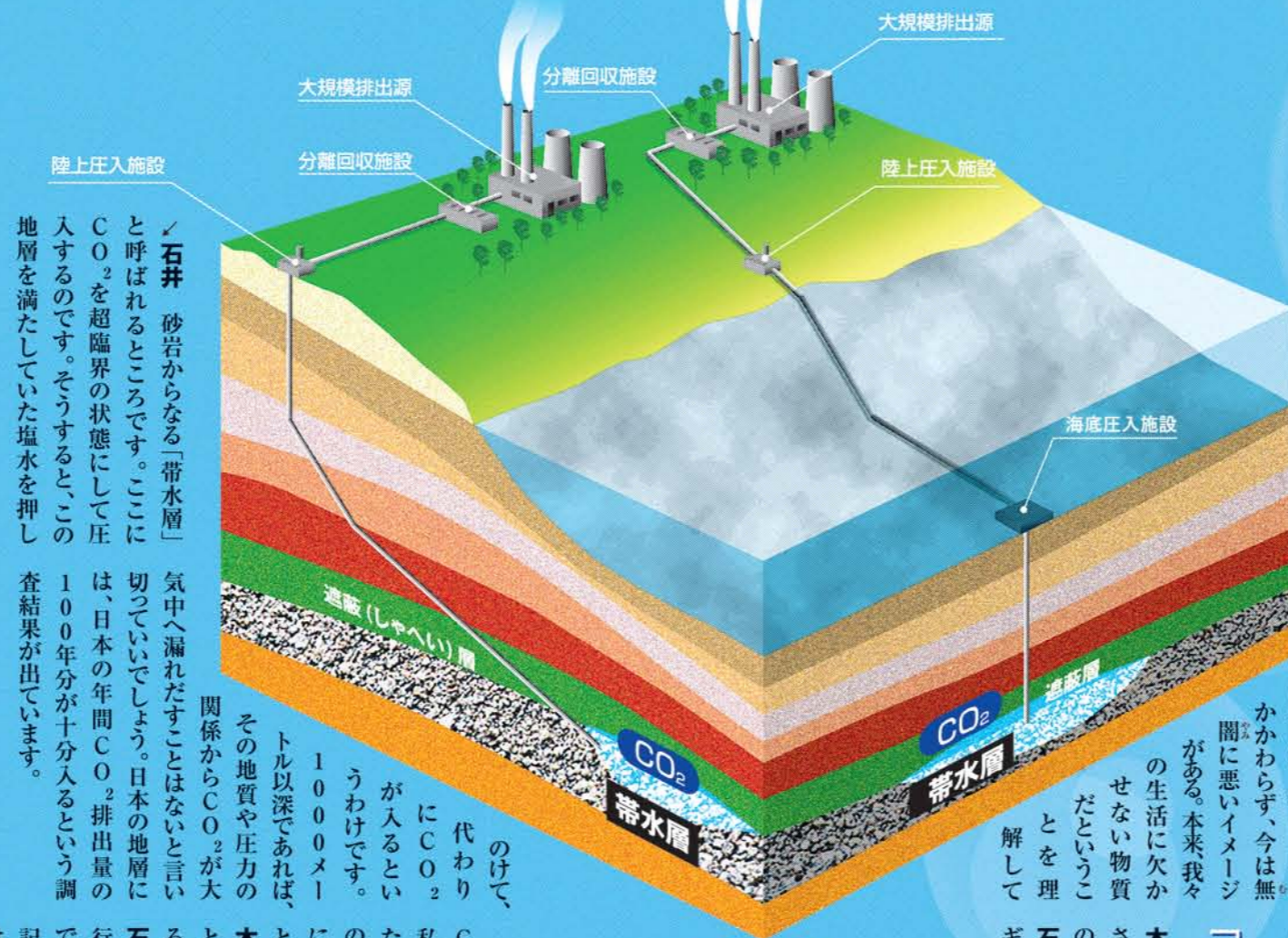
地球温暖化対策として温室効果ガスのCO<sub>2</sub>の排出抑制が進む一方で、CO<sub>2</sub>を分離・回収して隔離・貯留する技術「CCS技術」に期待が高まっている。我が国では、昨年5月に電力会社、石油元売りなどの企業29社が出資し、「日本CCS調査株式会社」が設立された。「CCS技術」の実用化を目的とし、本年度から本格的な調査研究を進めている。同社の代表取締役社長の石井正一氏に、一児の母として環境問題への関心も高いフリーアナウンサーの木佐彩子さんが話を聞いた。



日本CCS調査株式会社 代表取締役社長

### 石井 正一氏

いししょういち ●1949年生まれ。73年新潟大学文学部経済学科卒業。73年石油資源開発株式会社入社。同社、経理部、企画室を経て常務取締役執行役員となり、2008年5月、「日本CCS調査株式会社」社長に就任。



石井 砂岩からなる「帯水層」と呼ばれるところへCO<sub>2</sub>を超臨界の状態にして圧入するのです。そうすると、この地層を満たしていた塩水を押し

大規模排出源 分離回収施設 陸上圧入施設 海底圧入施設

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

CO<sub>2</sub> 帯水層

のけて、CO<sub>2</sub>の処理は重要な問題です。代わりCO<sub>2</sub>の回収は、持続可能な社会の発展のために何としても早急に仕上げていかなくてはならないと強く感じています。

石井 政府は「低炭素社会づくり行動計画」において、2020年までにCCSの実用化を目指すとしています。私どもとしては、今後はまた、富士山の麓を歩いているような気分ですが、登り始めてから早いと思っています。

木佐 今の生活に欠かさない物質だということ、そして理

石井 「日本CCS調査」とは、御社は昨年5月に設立されたばかりですが、設立

おこなうには、埋めたい化石燃料を大量に燃焼し、植

なんとしても早急にCCS実用化を目指したい

「低炭素社会」への移行期。CCSは重要な対策技術として存在感を發揮



CO<sub>2</sub>の排出を抑制する様々な技術が生み出されていますが、これ

木佐彩子氏

出光 出光興産株式会社

昭和シェル石油 昭和シェル石油株式会社

ENEOS 新日本石油株式会社

千代田化工建設株式会社

日本CCS調査株式会社

明日の地球環境のため。わたしたちはCCS技術の開発・発展に貢献しています。

出光 出光興産株式会社

昭和シェル石油 昭和シェル石油株式会社

ENEOS 新日本石油株式会社

千代田化工建設株式会社

日本CCS調査株式会社

東洋エンジニアリング 東洋エンジニアリング株式会社

日揮 JGC CORPORATION 日揮株式会社

MGC 三菱ガス化学株式会社

千代田化工建設株式会社

日本CCS調査株式会社